

育友会便り～H30春～

御挨拶

校長 土居 正明

育友会会員の皆様方には、日頃より本校教育に対しまして御理解と御協力を賜っておりますことに厚く御礼申し上げます。また、今年度新会員となられた皆様方には、いろいろな機会を捉えて本校の魅力を発信していきますので、積極的な御参加をよろしくお願ひします。

報告です。先日、生徒会の活動を垣間見ることができました。学校行事などでも陰となり日向となり活躍してくれていますが、この度は生徒会選挙で公約とした制服の件について、要望を聞いてほしいと言うことでした。季節の変わり目の制服移行期間などに、登下校や校内において本校指定のセーターを着用することを認めてほしい、気温の寒暖差が大きい季節にセーターで調節したい、という訴えです。数年前に制服の乱れが危惧されて、通学において禁止されたと聞いていました。奈良北生としての居住まいをだらしのない印象にしたくない、という学校の判断もよく理解できます。生徒会の諸君は、何度も生徒指導部の教員と話し合いを重ね、並行して制服の正しい着用を全校生徒に訴え、昇降口にはポスターを貼るなどしました。生徒自身が自分たちの制服を正しく着用しようと訴えたのです。その活動の結果、今年度から移行期間のセーター着用を認めることといたしました。この一連の出来事は奈良北生のポテンシャルの高さを感じ、学校という組織がちゃんと生きているように感じて、私にとっては嬉しい出来事でした。

また、春から夏は運動系部活動の大きな大会が続き、秋には文化系部活動の大きな大会が目白押しです。汗を光らせ目を輝かせて競技や活動に取り組み、学校名を胸に日頃の研鑽を発揮する場を求めて高校生は活動します。御家庭でも御協力いただいていることが多々あると思いますが、何卒御支援いただきますようお願いいたします。

世の中では、大学入試の改革が予定され、高等学校指導要領も近く改訂されます。社会や産業構造の変容が急速に進み、求められている能力やスキルが変化してきています。人格の形成という教育の大きな目標は忘れることなく、社会の変化にも敏感に対応していかねばならない。教員も新しい要請に、常に学び続ける毎日です。

本校の職員室前の廊下に設置された「流星塾」の机で、教科書や問題集を挟んで、生徒と教員が難問に顔をしかめたり、楽しそうに笑ったりしている姿をよく見かけます。ほっとすると同時に、学校でのそのような瞬間を大切にしていきたいと思ます。

本年度もよろしくお願ひします。

先生と話して居れば小春かな ー寺田寅彦ー

春風の中に坐するが如し ー宋名臣言行録、朱熹撰ー